

平成24年 野球殿堂入り表彰式

事務局長 廣瀬 信一

《競技者表彰》

7月20日(金)に競技者表彰を京セラドーム大阪で行われたオールスター第1戦の試合開始前に行いました。今回、プレーヤー部門で殿堂入りされた北別府 学さんは宮崎県の都城農業高校から1976(昭和51)年にドラフト1位で広島に入団されました。3年目に10勝をあげ、以来エースとして11年連続二桁勝利を達成し、初の日本一になった79(昭和54)年には、チーム最多の17勝をあげました。82(昭和57)年には、開幕から11連勝、初の20勝をあげ、最多勝を獲得、沢村賞にも選出されました。86(昭和61)年には最多勝、最優秀防御率、MVPを獲得、チームのリーグ優勝に貢献し、2度目の沢村賞を受賞されました。抜群の制球力で、球団初の200勝投手となり、引退後は広島で投手コーチを務めました。

同じく、プレーヤー部門で殿堂入りされた、故・津田 恒実さんは山口県の南陽工業高校から協和発酵を経て82(昭和57)年にドラフト1位で広島に入団し、11勝6敗で新人王を獲得、その後肩などの故障から復活後86(昭和61)年にリリーフに転向、4勝22セーブでカムバック賞を受賞されました。89(平成元)年には12勝28セーブで最優秀救援投手のタイトルを獲得しました。

攻めに徹した投球は、「炎のストッパー」と呼ばれましたが、19年前の93(平成5)年7月20日に32歳の若さで脳腫瘍のため亡くなりました。



左から秋山 幸二監督、北別府 学氏、加藤 良三野球体育博物館理事長、津田 晃代氏、原 辰徳監督



両軍の選手・監督・コーチが各々ベンチ前で整列し、場内アナウンスで北別府 学さん、故・津田 恒実さんの奥様、晃代さんがスクリーン映像の紹介とともに登場されました。はじめに、(財)野球体育博物館・加藤 良三理事長よりお二方に記念のレプリカが贈られました。次に、花束贈呈が行われ、かつてオールスター戦や日本シリーズ等で対戦したこともある、福岡ソフトバンクホークスの秋山監督から北別府さんへ、読売ジャイアンツの原監督から晃代さんへそれぞれ贈呈されました。記念撮影に続き、北別府さんから「今日は津田さんの命日であり特別な日。一緒に祝ってもらえることを喜んでと思います。残りの人生で野球界のために尽力していきたい。」と感慨深いご挨拶がありました。

《特別表彰》

特別表彰で野球殿堂入りされた故・長船 駿郎さんと故・大本 修さんの表彰式を6月2日(土)に行いました。開催場所は、お二方のゆかりの地であり、学生野球の聖地でもある神宮球場で、早慶戦の試合開始前に行いました。当日は、天候が危ぶまれましたが、幸い好天に恵まれ、多くの観客や出場選手が見守る中盛大に行われました。

長船さんは、早稲田大学在学中は捕手として活躍され、その後は日本学生野球協会の事務局長などの要職を長く務められました。また、学生と社会人による全日本アマチュア野球連盟の結成に貢献、のちに会長としても連盟の運営にあたられました。プロ野球との交流を広げるため全日本野球会議の設立にも尽力され、プロ野球選手のオリンピック出場の道を拓きました。

大本さんは、芝浦工業大学の学長を務められ、金属バットの安全基準作成に尽力されました。また、木製バットの折損事故防止対策を目的とした、「バット問題諮問委員会」の委員長を務められ、さらに「アオダモ資源育成の会」を立案し設立しました。以後、アオダモの植樹が毎年続けられています。

早慶両チームの選手・監督が各々ベンチ前で整列し、スクリーン映像では長船さん、大本さんを紹介、その間に長船さんの奥様・宏子さん、ご長男の至さんそして大本さんの奥様・昭子さんが登場されました。

はじめに、(財)野球体育博物館・加藤 良三理事長よりお二方に記念のレプリカが贈られました。引き続き、花束贈呈が行われ、早稲田大学、佐々木 孝樹主将から宏子さんへ、慶應義塾大学、山崎 錬主将から昭子さんへそれぞれ贈呈されました。記念撮影に続き、両家を代表して至さんより感謝の言葉と、結びに長船さんが生前好んでいた大学の校歌の一節を交えながら、大学野球の今後の発展を祈念したご挨拶がありました。



左から長船 至氏、長船 宏子氏、加藤 良三野球体育博物館理事長、大本 昭子氏



殿堂入りの人々を語る (36)

叔父を想う

福島 玉恵 (谷口 五郎氏 姪)



1979年野球殿堂入り
谷口 五郎氏レリーフ

「五郎さんの所に手伝いに行ってくれんね。」東京から帰熊した父からの頼みです。

叔父がコーチとして巨人軍にお世話になっている時期に、叔母が^{のういっけつ}脳溢血で急逝しました。3人の娘は、結婚して家を出ており、遠征が多く留守がちなので、家事を頼むという事でした。私はまだ10代で洋裁や編物の稽古をしておりましたが、家事に自信はありませんでした。しかし、弟思いの父の頼みですから、私で役に立てるならば、と上京しました。

叔父の家には、私の妹が下宿して学校に通っていましたが、心強く、二人で家を守りました。

叔父は男ばかり3人兄弟の末っ子です。教員の長兄は、岡山県津山に、2番目が私の父で朝鮮鉄道の釜山工場に奉職しておりましたので、叔父は釜山商業から早稲田大学に進みました。祖父が早く亡くなったので、私の父が親代わりだったと申しておりました。

ノンプロの大連実業の時、シベリアに抑留されて栄養失調になり、復員してきた時は^{かっけ}脚気を患っていたそうです。

仕事柄、健康には気を配っていました。当時、大田区梅田町に住んでいましたが、今のように近くにお店はなく、牛肉は銀座松屋の地下の売場が良いということで、第2国道に出て、池上本門寺近くの停留所からバスに乗って買いに行っていました。

お酒も洋酒が好きで、飲んだ翌日は必ず^{しじみ}蛸のエキスを用意しました。御用聞き^{のういっけつ}の魚屋さんに無水鍋半分位の量の蛸を注文します。よく洗って鍋に入れて中火にし、貝のふたが開いたらエキスを集めます。鍋に山盛りになる位、量が増えていても、湯呑みに半分位しか取れませんが、調子が良いと言って、よくリクエストがありました。

また休みの日は、メンバーが揃うと麻雀が始まります。夜食は片手で食べられるようにとオカカ入りのり巻きを教わり、いつでも準備できるようになりました。

四国に遠征すると、いつも鳴門の「灰まぶしわかめ」がお土産でした。酢の物やお味噌汁で毎日美味しくいただいていた。

遠征から帰ってくるとユニフォームをクリーニングに出し、アンダーシャツや靴下は、手洗いをしていました。半世紀以上も前のことで、まだ洗濯機はありませんでした。

スパイクを磨き、次の日の準備をしておきます。叔父はその後再婚しましたので、私も熊本に帰ってきて50年が過ぎました。

テレビの野球中継を見ていると、成績よりもご家族の方のご苦勞に思いを馳せてしまいます。

長い野球人生の晩年には「早大黄金時代を築いた大正時代の好投手」として、栄えある殿堂入りをさせていただきまして、お支えいただき、応援して下さったファンの皆様に、心より御礼と感謝申し上げます。

叔父は年を重ねても元気で過ごしておりましたが、昭和55(1980)年9月26日「腹部大動脈瘤破裂」により79歳で父母やお仲間の元へと旅立ちました。幸せな野球人生でございました。野球体育博物館、応援いただいた皆様、ありがとうございました。

野球界の益々のご発展をお祈り申し上げます。



《2012年 夏休み情報！》

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 「野球で自由研究！」 | 7月21日(土)～9月2日(日) |
| ② 「バット製作実演」 | 8月17日(金)、18日(土) |
| ③ 平成24年 野球殿堂入り特別展 | 7月21日(土)～9月23日(日) |

1 「野球で自由研究！」

期 間 / 7月21日(土)～9月2日(日)

会 場 / 館内 図書室ほか

野球には、歴史や用語、野球用具、野球場など小・中学生の自由研究のテーマになるものがたくさんあります。当館では今年も夏休みに小・中学生の自由研究をサポートする「野球で自由研究！」を開催します。また、当館スタッフによる「ミニミニ実験コーナー」も行います。



昨年の様子

● 「ミニミニ実験コーナー」

期 間 / 7月28日(土)～9月2日(日)
(8月17、18、20日を除く毎日)

時 間 / 14:00、15:00 一日2回開催

場 所 / 館内 殿堂ホール

風船を使った変化球の実験や、プロ野球選手のバットの長さや重さをはかるなどのいろいろな実験を行います！



昨年の様子

2 「バット製作実演」

日 時 / 8月17日(金)、18日(土)

11:00～12:00、13:30～14:30、15:00～16:00予定

会 場 / 館内 野球殿堂ホール

協 力 / ミズノ株式会社

今年もバット削りの実演を開催します！ミズノ株式会社のご協力により、クラフトマンによるバット製作の実演に加え、バットにまつわるいろいろな質問にもお答えします。自由研究の題材にもおすすめのイベントです。



過去の開催時の様子

3 平成24年 野球殿堂入り特別展

会 期 / 7月21日(土)～9月23日(日)

会 場 / 館内 野球殿堂ホール

北別府氏、津田氏の野球殿堂入りを記念して、「平成24年 野球殿堂入り特別展」を開催します。2氏ゆかりの資料や写真を展示し、経歴や記録などをご紹介します。



展示風景

※ これらのイベント、展示は通常の入館料でご覧いただけます。



コラム／博覧・博楽 (43)



学童野球の思い出

枝川 憲寿（元全日本軟式野球連盟専務理事／野球体育博物館維持会員）

（公財）全日本軟式野球連盟の下部組織である水戸野球連盟審判員・役員として身を投じてから、半世紀の歳月がすぎました。

これには、多くの人達との出会いと協力がなければ、野球との縁も切れていたかも知れません。この出会いの大切さと、野球に情熱を持ってご支援くださいました皆様へ改めて感謝申し上げます。

さて、1981（昭和56）年に第1回大会を開催している全日本学童軟式野球大会があります。1986（昭和61）年には日本マクドナルド社が冠スポンサーとなり「マクドナルド・トーナメント」と呼ばれるようになりました。1997（平成9）年には高円宮賜杯が下賜され、「高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」となり小学生の甲子園として小学生球児の憧れの大会になっています。全国47都道府県で予選大会が行われています。

私は、県の役員から、全日本への役員として大会企画・運営してきたなかで、1990（平成2）年より茨城県水戸市にて開催地を固定し19年間毎年8月に開催してきました。水戸市において19年間に開催できたことには、大きな組織力があります。行政各種団体並びに企業のご支援・ご協力に敬意を表し、そして、役員スタッフに恵まれたことに感謝しています。この恵まれた環境の中で毎年開催できたことは野球人として誇りに思えるところでございます。

その、開会式における大観衆の中、都道府県の代表選手が中央のホームプレート付近を通過した時のあの目の輝き・笑顔は今も忘れられなく目に焼き付いています。特にスタンドで応援された、おじいちゃん・おばあちゃんの孫への声援には感動しました。

今後においては、各団体の協力体制を高め日本野球界の発展と、世界をますますリードできるものとして更なる飛躍に期待しております。

最後になりましたが、子供達の為にボランティアでご協力してくれた監督・コーチそして父兄の皆様へ心から感謝申し上げます。



当館で所蔵している「全日本学童軟式野球大会」プログラム
*これらのプログラムは図書室で閲覧できます。

～第32回高円宮杯全日本学童軟式野球大会 マクドナルドトーナメント～

2012年8月12日(日)～17日(金)

会場 明治神宮野球場／大田スタジアム／駒沢硬式野球場／
稲城中央公園野球場／府中市民球場



「12球団ファンクラブ会員様無料招待デー」開催

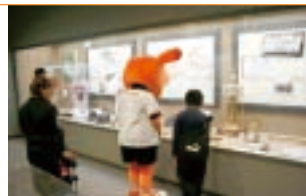


当博物館では、プロ野球12球団のファンクラブ会員様へのサービスとして、各球団1日ずつ、以下の期日に「無料招待デー」を開催しました。各球団から会員様への告知の効果も大きく、合計で2,936名のファンの皆様にご入館いただくことができました。館内では、これをきっかけとして「また来よう!」と思ってもらえるような、当日限定の企画を実施しました。

●各球団関係の殿堂入りの方々が一目で分かるよう、殿堂レリーフに印をつけ、一覧表を掲示。



●各球団関係の殿堂入りの選手、監督のユニホームや用具の特別展示



●優勝した日本シリーズなどを上映
●図書室では球団ファンブックなどを見やすく配置。



●球団マスコット来館
ジャイアンツ、ドラゴンズ、ホークスのマスコットが来館。

■日程

開催日	球団	FC会員様入館者数(総入館者数)	開催日	球団	FC会員様入館者数(総入館者数)
5月17日(木)	オリックス・バファローズ	33人(333人)	6月28日(木)	北海道日本ハムファイターズ	173人(238人)
5月27日(日)	読売ジャイアンツ	536人(998人)	7月1日(日)	中日ドラゴンズ	191人(658人)
5月31日(木)	東北楽天ゴールデンイーグルス	25人(230人)	7月2日(月)	福岡ソフトバンクホークス	347人(497人)
6月8日(金)	埼玉西武ライオンズ	264人(504人)	7月8日(日)	阪神タイガース	156人(621人)
6月10日(日)	千葉ロッテマリーンズ	906人(1,347人)	7月12日(木)	広島東洋カープ	104人(339人)
6月24日(日)	東京ヤクルトスワローズ	135人(399人)	7月26日(木)	横浜DeNAベイスターズ	66人(605人)



来年以降もこうした企画を実施し、何度でもご来館いただけるようアピールしていきたいと考えています。



こんにちは図書室です



当館では、高校野球の書籍も多く所蔵しています、中でも1都2府40県の高校野球連盟史は、ここでしか見られないものではないかと思います。

今回は、43都府県の連盟史の中から、今年野球殿堂入りされた北別府 学氏、津田 恒実氏の高校時代を振り返ってみます。

北別府氏は、宮崎県の都城農業高校出身。『野球史』(宮崎県高等学校野球連盟編 1983年発行)を見ると、1年生の5月に行われた招待試合の対作新学院戦では、2番手投手として江川投手と投げ合っていることがわかります。(結果は、作新学院が4-0で勝利)

春・夏の甲子園大会に出場はしていませんが1975年の4月に行われた九州高校野球大会では、伝習館高校を相手に大会史上初の完全試合を達成しています。

津田氏は、山口県の南陽工業高校出身。『山口県高校野球史』(山口県高等学校野球連盟編 1994年発行)を見ていくと、1977年の夏の甲子園山口県予選で、対熊毛北戦で完全試合を達成しましたが、周防地区の代表決定戦に破れ、山口県の決勝まで進めなかったことがわかります。しかし、翌年の選手権大会の山口県予選では、全6試合を1人で投げ、このうち2試合はコールドゲーム、2試合は完封、失点の合計は4という成績で優勝し山口県代表として、甲子園に出場しました。

このように「連盟史」には、高校球児たちのさまざまな記録が残っています。当館で所蔵する高校野球連盟史はホームページにリストを載せています。(「図書室」→「ピックアップブックス」)(<http://www.baseball-museum.or.jp/books/picup/>) また、これら連盟史は図書室でご覧になれますので、ぜひご利用下さい。

司書 小川 晶子



左:『野球史』(宮崎県高等学校野球連盟編)

右:『山口県高校野球史』(山口県高等学校野球連盟編)



野球体育博物館 トピックス (2012年5～7月編)

【5月29日】CPBL梁功斌事務局長が来館！



中華職業棒球大連盟(CPBL)の梁功斌事務局長が来館し、常設展示、殿堂ホール、図書室などをご覧になりました。

【6月7日】JR東日本野球部が来館！



2011年第82回都市対抗野球大会優勝のJR東日本野球部が来館しました。堀井哲也監督はじめ選手ご一行が、同監督のユニホームを展示している社会人野球コーナーや、野球殿堂などをご覧になりました。

【6月9日】「ライオンズ・クラシック 2012」記者会見が開催！

埼玉西武ライオンズ「ライオンズ・クラシック 2012」の記者会見が館内・殿堂ホールで行われました。

記者会見には豊田 泰光氏(2006年殿堂入り)、渡辺 久信監督、中村 剛也選手、岸 孝之投手、牧田和久投手が出席。豊田氏は稲尾和久氏(1993年殿堂入り)のエピソードや当時着用していたユニホームのエピソードをお話しになりました。



【6月21日】OBクラブイベントで屋鋪氏が来館！

社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)主催のイベント「夢・未来応援プロジェクトブルペン」が当館応接室で開催され、屋鋪 要氏(元大洋、巨人)が来館しました。屋鋪氏は新潟県上越市の小学生6名と質疑応答を行い、夢を持つ大切さや、練習の大切さなどを自身の経験をふまえながらお話になりました。



【7月6日】野村克也氏が来館！



野村 克也氏(1989年野球殿堂入り)が来館、当館応接室にて雑誌社からの取材を受けられました。

【7月14、16日】「都市対抗野球 サマースクール」開催

「都市対抗野球 サマースクール」(主催：毎日新聞社、日本野球連盟)が当館殿堂ホールにて開催されました。同イベントは主催者が事前に参加者を募集した有料イベントで、14日はNTT東日本野球部副部長、16日はHonda野球部部長によるトークショーが行われました。



博物館からのお知らせ

▶ 理事会・評議員会

平成24年度の理事会及び評議員会を、6月11日(月)に東京ドームホテルで開催しました。理事・監事・評議員全員(意見書出席含)にご出席いただき、次の議題において承認いただきました。

- 議題1. 平成23年度の事業報告・決算報告・監査報告承認について
- 議題2. 公益財団法人移行認定について



▶ 監事・評議員の交代

新監事に長岡 勤氏(株東京ドーム常務取締役)が、新評議員に北田 英壹氏(株東京ドーム専務取締役)が就任されました。よろしくお願い致します。

▶ 販売中！

● 平成24年野球殿堂入り記念直筆サインボール 北別府 学氏

平成24年野球殿堂入りされました北別府 学氏の直筆サインボール。財団法人野球体育博物館 理事長の証明書が付属、ボールケース底、証明書にはシリアル番号が入ります。



- 【ボール】 NPB統一球 直筆サイン入り
- 【素材】 ケース：ガラス／台座：木製
- 【カラー】 ケース：透明／台座：ブラウン
- 【付属品】 野球体育博物館証明書、野球殿堂2012(書籍)、野球体育博物館ご入館券6枚

【販売数】 50個

【サイズ】 ボールケース：縦14.5×横13×奥行13cm(奥行は台座含まず)

※なお、このボールはインターネットのみの販売になります。
(<http://shop.npb.or.jp/>からお申し込み下さい。)

● 野球殿堂 2012

編集 野球体育博物館

発行所 ベースボール・マガジン社

殿堂入りされた177名の球歴がわかる1冊です。当館受付で販売しています。また、郵送ご希望の方は「野球殿堂 2012希望」と明記の上、代金(本代2,500円と送料100円の合計2,600円)を現金書留で当館までお送り下さい。

※2冊以上購入ご希望の方は、送料が異なりますのでお問い合わせ下さい。

● 博物館のご案内

場 所 東京ドーム21ゲート右

開館時間 3月1日～9月30日 AM10時～PM6時(入館は閉館の10月1日～2月末日 AM10時～PM5時(30分前まで)

入館料 大人 500円(300円) ()は
小・中学生 200円(150円) } 20名以上の団体
65歳以上 300円

休館日 月曜日(祝日、プロ野球開催日、春・夏休み中の月曜日は開館)
年末年始(12月29日～1月1日)

《8月・9月・10月の休館日》

8月 無休

9月 3日・10日・24日 10月 1日・15日・22日・29日

※10月15日、22日はクライマックス・シリーズの日程により開館の場合あり。

● 編集後記

紙面の都合により、「知ってほしいこんな資料」は休載いたします。

Newsletter Vol.22 / No.2

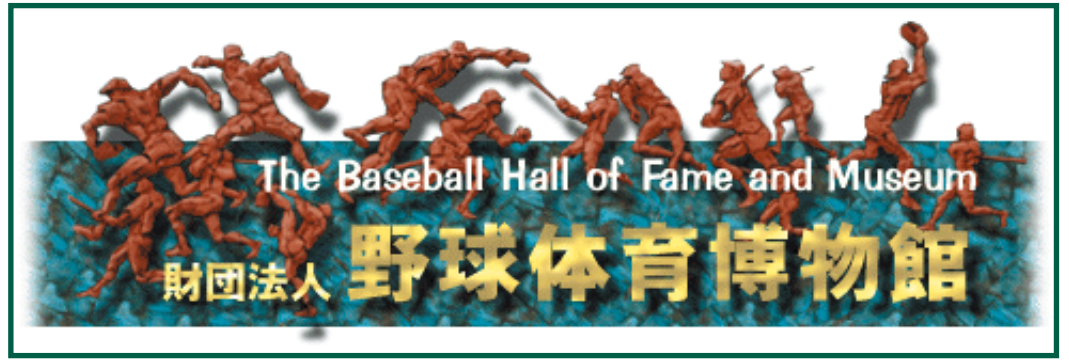
2012年8月3日発行

編集・発行 財団法人 野球体育博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61

Tel 03 (3811) 3600 Fax 03 (3811) 5369

<http://www.baseball-museum.or.jp/>



リレー随筆 (49)

名将との思い出

競技者表彰委員会幹事 毛利 八郎 (関西テレビ)

昨年11月25日「悲運の名将」と呼ばれた西本 幸雄さんが91歳で亡くなった。現在は故郷でゆっくりと眠っておられるが、草葉の陰から今も選手たちを叱咤激励し続けているかも知れない。西本さんは亡くなる6日前、日本シリーズを見ながら『シリーズは非常に緊迫した場面があまりに多い。本当に強い闘争心と精神力が必要。クライマックスシリーズ、日本シリーズという制度になって、選手はよくやるなあと感心する』とテレビカメラの前でしっかりと口調で自らの経験を基に、長くなったシリーズを戦い抜く選手に敬意を払い熱く語った。人生終焉の時まで野球を心から愛し続けた方だった。

私が西本さんを最初に間近に見たのは、アナウンサーとして初めて行ったキャンプ取材の時。雪が舞う高知県宿毛で、バッティングケージの後ろにバットを持って仁王立ちの西本監督はまさに鬼気迫る闘将だった。その圧倒的な迫力に新米アナの私は声をかけるどころか近寄ることも出来なかった。その後も最初の印象があまりに強烈だったためなかなか気軽に話しかけられないでいたが、2年後、解説者と実況アナウンサーという関係になった時、西本さんは『野球の事ならなんでも教える。どんな事でも聞いてくれ、その代り放送では素人。おかしなところは遠慮せずどんどん言って欲しい』と若手の私にも気さくに接して気遣って下さった。そんな西本さんに甘え、配球、守備位置、作戦、選手の育て方や起用法などなどありとあらゆる事を尋ねた。今思うと恥ずかしい素人の質問にも、西本さんはいやな顔一つせず丁寧に答えて下さったが『素晴らしい、ファインプレーですね!』と私が気軽に言うと、『ばっかもん! あんなのは普通のプレーや、最初の一步が遅いだけじゃ!』と目は笑っていたがよく怒られた。何事に対しても手抜きは絶対に許さない方だった。

もう1つ西本さんと言えば忘れられないことがある。実は驚異的な「雨男!」なのであった。コンビで野球中継を担当すると信じられないような天気の変遷が起き試合中止になったことは数え切れない。雲一つない快晴の藤井寺球場(現在はなくなりました)放送30分前、マイクチェックで西本さんが喋り始めたその時、ポツリ、ポツリ「あれ?」と思った瞬間突然雷が鳴りバケツをひっくり返したような雨が降り出し、グラウンドは瞬間に水浸し。なんとゲーム開始5分前、雨天中止になってしまった。また、甲子園球場での阪神-巨人戦。午後6時にゲームが始まり、途中ニュース番組のスポーツコーナーに『ゲームは順調に行われています。この後7時から西本幸雄さんの解説でお届けします。どうぞ生中継をお楽しみに』と伝えた6時50分からのわずか10分、大粒の雨が降り出し7時に中継が始まった時はゲーム中断中、誰もいないグラウンドを前にそれから30分、西本さんには全国に向け延々と野球よもやま話をして頂いた。ちなみにゲームはそのまま中止になってしまい、ゴールデンタイムの野球中継なのに雨とベンチに座る選手ばかりが映り全くゲームが見られないというとんでもない番組になってしまった。「嵐を呼ぶ西本さん」のエピソードはまだまだあるが、故人にお叱りを受けそうなのでこのへんで止めておきます。球場で私の顔を見ると、必ず空を見上げて『今日は雨は大丈夫や!』とばかりににやりとする秘密のサインが懐かしい思い出です。野球に対してはどこまでも真剣、妥協は決して許さなかったが、普段は負けず嫌いでちゃめっけのある大変やさしい方だった。野球の楽しさ・奥深さを一から教えて下さった西本さん。偉大な名将に出会えた事を心から感謝しています。